

西高生の挨拶は「普通」？ ～「西高ルール」アンケートから～

生徒会執行部が全校生を対象に実施したアンケートの結果とその分析について、前回の「学校長から」で紹介しました。西高生の「挨拶」について、考えてみたいと思います。

西高についての実態調査 (アンケート結果から抜粋)

西高生の挨拶はどう思いますか？	良い 13%	普通 72%	悪い 15%
-----------------	--------	--------	--------

DO ルール「元気で挨拶しよう」

ルール決定後、自分の挨拶はどう変化しましたか？	良くなった 19%	変わらない 81%	悪くなった 0%
学校全体では、挨拶はどう変化していますか？	良くなった 15%	変わらない 83%	悪くなった 1%

アンケートの結果から見えてくるのは、

72%の生徒が、西高生の挨拶は「普通」だと思っている。

何をもって「普通」とするのが問題だが、「普通」だと思っているということは、7割の生徒が「改善すべきだ」、「もっと良くしよう」という意識を持っていないと考えられる。

しかし、7割の生徒が答えている「西高生の普通」は、残念ながら社会人として要求されるレベルから判断すれば決して「挨拶が良くできている」という状態には届かない。

しかし、生徒会が中心となって定めた「西高ルール」の効果は数字として表れている。

**ルール決定後に、自分の挨拶が「良くなった」と思っている生徒が 19%
ルール決定後に、学校全体で挨拶が「良くなった」と思っている生徒が 15%**

2割近くの生徒が、自分の挨拶が良くなり、学校全体の挨拶も良くなったと思っている。

朝、私は、登校する生徒のみんなに下駄箱とのところで挨拶をしています。朝の挨拶が自然にできるようになってほしいと思います。

西高生の挨拶を分類すると次の5つのレベルです。さて、あなたはどのレベル？

レベル0	うつむいてそのまま通り過ぎる。(高校生としてはあまりに幼稚な行動)
レベル1	軽く会釈はできるが声が出ない。(恥ずかしいのか?)
レベル2	声は出しているが、声が小さすぎてよく聞こえない。(もうひとがんばり)
レベル3	挨拶をされたら、挨拶を返すことができる。(する気はあるんだけど…)
レベル4	自分から先に相手に聞こえるように挨拶ができる。(大人の対応)

挨拶は、社会人としての常識です。挨拶は、人間関係、コミュニケーションの基本です。レベル3以上を目指しましょう。

西高の常識が世間の非常識とならないように、決してハードルを下げてはいけません。

(校長 高橋信之)